

幼保連携型認定こども園 出雲崎こども園		全体的な計画		園長	主幹	職員代表			
<b>保育理念</b> (事業運営方針) 子どもの人権や主体性を尊重し、より良い家庭関係を支援するために当園を利用する方(子ども・保護者・地域)に最善を尽くすことを誇りとします。									
<b>教育保育方針</b> ・遊びを大切に保育を行います ・人の関わりを大切にします		<b>教育保育目標</b> ・自己肯定感を育みます ・自然との関わりを大切にします		<b>教育保育目標</b> ・元氣いっぱい遊ぶことも ・感じたことを表現することも ・友だちを大切にすることも					
<b>★幼保連携型認定こども園における役割目標</b> 認定こども園法第9条に規定する教育及び保育の目標に基づき、学校としての教育及び児童福祉施設としての保育並びにその実施する保護者に対する子育て支援事業の相互の有機的な連携を図りつつ目標の達成に努める。		<b>★幼保連携型認定こども園の社会的責任</b> ・適切な法人施設運営・人権に十分に配慮し、尊重する。 ・地域との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する。個人情報を通じ適切に取り扱う。保護者の苦情への総合的な対応を通じて社会的な責任を果たしていく。(第三者委員設置・情報提供を行う。)		<b>★幼児教育を行う施設として共有すべき事項</b> 生涯にわたる生きる力の基礎を培うために子どもの興味関心を起点とした、遊びを通して総合的な指導の中で「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質能力を一体的に育むよう努める。 日々の保育実践の振り返り(ドキュメンテーション)をクラス別事例検討会や職員合同事例検討会等で行い、具体的な子どもの姿を多面的に観察する事を通して、3つの資質能力がどのように育まれているのか共通の理解を図るとともに、具体的な子どもの育ちを意識した保育の指導計画を立てていく。		<b>★小学校との連携</b> 子どもの学びと連続性を確保するために、連携会議や保幼幼小の合同研修を設け、「幼児期の終わりまでの育ってほしい10の姿」が具体的な事例から子どもの育ちについて共有できるように意見交換を行う。そして幼児期に育まれた資質能力を踏まえて小学校教育の活動が実施され、子どもが主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能になるよう、幼児期の教育と小学校教育の内容や指導法について理解を深めていく。			
<b>子どもの保育目標</b>		<b>0歳児</b> 保育教諭の愛情豊かな応答の中で生理的な欲求を満たし、安心感と満足感を育む。	<b>2歳児</b> 保育教諭の愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活する。	<b>4歳児</b> 友だちと一緒に遊んだり、活動したりする楽しさを味わう中で、関わりを深める。	<b>5歳児</b> 仲間と共に遊んだり活動したりする中で多様な感情体験を共有したり、他者の考えに触れたりし、一緒に活動を展開する楽しさや共通の目的が実現する喜びを味わう。	<b>★小学校との連携</b> ★小学校との接続期アブローチカリキュラム参照			
<b>保育の内容</b>		<b>0歳児</b>	<b>1歳児</b>	<b>2歳児</b>	<b>3歳児</b>	<b>4歳児</b>	<b>5歳児</b>		
<b>生命の保持</b> ・生理的な欲求を応答的な関わりの中で丁寧に対応する。 ・家庭との連携を密にして一人ひとりの生活に合わせ、生活のリズムを整えていく。		<b>1歳児</b> 一人一人の子どもの生活全体を見直し、家庭と協力しながら子どもの生活や発達過程等にふさわしい生活のリズムを形成していく。		<b>2歳児</b> 食事や午睡、遊びと休息など安定した生活リズムを獲得し、次の出来事を自分なりに期待を持って生活する。		<b>3歳児</b> 園生活のなかで、健康な生活習慣に気づいていく。		<b>4歳児</b> 身の衛生についての必要性を自ら気づき、基本的な生活習慣や態度を形成していく。	<b>5歳児</b> ・生活に必要な行動について、見直しをもつて自立的に行動していく。 ・子どもの一日の生活リズムを把握し、休息時間の過ごし方(午睡)については個々に対応した生活リズムを整えていく。
<b>情緒の安定</b> ・生理的な欲求を応答的で愛情豊かな触れ合いの中で十分に満たし、保育者や周囲の人への基本的な信頼感を育む。		<b>健康</b> 一人一人の子どもの生活全体を見直し、家庭と協力しながら子どもの生活や発達過程等にふさわしい生活のリズムを形成していく。		<b>人間関係</b> 保育教諭等と温かなやり取りやスキンシップを図り、安定感をもって生活できるようにする。		<b>言葉</b> 保育教諭等の温かな関わりと下に関わりを持つ身近な人と関わる喜びを感じる。		<b>表現</b> 保育教諭等と温かな関わりの中で、自分の感情や意思を、身振りを加えて自分なりの言葉で表現し、自分の感情を自覚すると共に他者の思いに気づいていく。その体験の中で自己発揮と自己抑制との感情のコントロールをすることの必要性に気づいていく。	<b>環境</b> 遊びや生活の中で様々な言葉や言葉のリズムに出会い、その意味や使い方を関心をもち、関心をもった言葉や自分の感情や体験に重ねながら使おうとする。
<b>教育(子どもが環境に関わって経験する事項)</b>		<b>健康</b> ・愛情豊かで応答的な関わりと生活の中で、身体感を育む。 ・安心して伸び伸びと動ける環境の中で、探索意欲を高める。 ・応答的な関わりの中で生理的な欲求を満たし、心地よさを味わう体験を重ねていく中で、生活リズムの感覚を培う。		<b>人間関係</b> ・保育教諭等の温かな関わりと下に関わりを持つ身近な人と関わる喜びを感じる。		<b>言葉</b> ・保育教諭等の温かな関わりと下に関わりを持つ身近な人と関わる喜びを感じる。		<b>表現</b> ・自分の感情や意思を、身振りを加えて自分なりの言葉で表現し、自分の感情を自覚すると共に他者の思いに気づいていく。その体験の中で自己発揮と自己抑制との感情のコントロールをすることの必要性に気づいていく。	<b>環境</b> ・遊びや生活の中で様々な言葉や言葉のリズムに出会い、その意味や使い方を関心をもち、関心をもった言葉や自分の感情や体験に重ねながら使おうとする。
<b>身近な人と気持ちは通</b>		<b>人間関係</b> ・保育教諭等の温かな関わりと下に関わりを持つ身近な人と関わる喜びを感じる。		<b>言葉</b> ・保育教諭等の温かな関わりと下に関わりを持つ身近な人と関わる喜びを感じる。		<b>表現</b> ・自分の感情や意思を、身振りを加えて自分なりの言葉で表現し、自分の感情を自覚すると共に他者の思いに気づいていく。その体験の中で自己発揮と自己抑制との感情のコントロールをすることの必要性に気づいていく。		<b>環境</b> ・遊びや生活の中で様々な言葉や言葉のリズムに出会い、その意味や使い方を関心をもち、関心をもった言葉や自分の感情や体験に重ねながら使おうとする。	
<b>身近なものと関わり感性が育</b>		<b>環境</b> ・身近なものに興味や好奇心をもって関わり、触れたり親しんだりする中で、不思議さや面白さを感じ、周囲のものへ自分から関わろうとする意欲を育む。 ・自分の感じとったものを身近な大人と共有する喜び、自らの思いを表現しようとする意欲を育む。		<b>表現</b> ・身近な環境に関心をもち、探索行動をする中で、モノに触れ、様々な感覚を豊かにする。 ・心地よい言葉やリズムに合わせて体を揺らしたり、動きを真似しようしたりし、保育者等と身体表現での繋がりを楽しむ。		<b>環境</b> ・身近な環境に関心をもち、探索行動をする中で、モノに触れ、様々な感覚を豊かにする。 ・心地よい言葉やリズムに合わせて体を揺らしたり、動きを真似しようしたりし、保育者等と身体表現での繋がりを楽しむ。		<b>環境</b> ・身近な環境に関心をもち、探索行動をする中で、モノに触れ、様々な感覚を豊かにする。 ・心地よい言葉やリズムに合わせて体を揺らしたり、動きを真似しようしたりし、保育者等と身体表現での繋がりを楽しむ。	
<b>食育</b>		<b>食育</b> ・安定した人間関係の中で、ミルクを飲み、心地よい生活を送る。 ・家庭と協力しながら、個々の発達に合わせた食事を進め、調理形態を工夫したり量を調節したりする。食への意欲と喜びを育む。		<b>食育</b> ・子どもと一日の生活の流れと家庭での食卓の様子や健康状態を把握しながら、個々に合わせて時間や量、調理形態柔軟に対応し、必要な栄養量を確保できるように援助する。 ・食への意欲と喜びを育む。		<b>食育</b> ・クラスで友だちと一緒にテーブルを囲み、食事をを楽しむ。 ・子どもと一日の生活の流れと家庭での食卓の様子や健康状態を把握しながら、個々に合わせて柔軟に対応し、必要な栄養量を確保できるように援助する。		<b>食育</b> ・好きな友達と一緒に遊んだり仲間と共に食卓の席を共にし、会話をしながら食事を楽しむ。 ・食育のマナーや食具等の適切な扱いについて気づいていく。	<b>食育</b> ・身近な食物の種類に関心をもち、栽培しながら成長の過程での変化を楽しむ。食物を栽培することへの面白さを保ちながら意欲と態度を培う。
<b>健康支援</b>		<b>健康支援</b> ・健康状態、発育発達状態の定期的・継続的な把握 ・心身状態や家庭生活、発育状態の把握・年2回の嘔吐胃腸による内科検診・歯科検診・異常が認められた時の適切な対応		<b>研修計画</b>		<b>研修計画</b> ・教育・保育要領解説に関する園内研修、外部講師を招いた園内研修 ・外部講師を招いた職員研修会(年2〜3回) ・クラス別、キャリア別園内研修・附属幼稚園研究会参加 ・他乳幼児施設見学会・新潟県保育士研修会参加 ・キャリアアップ研修・近隣自治体研修会参加 ・乳幼児教育関係者向け保育フォーラム・講習会 ・近隣乳幼児教育関係者向け研修会合同(愛泉こども園、東洋大学教授)主催(GATA研)、研究者との乳幼児研究、学発表(上越幼児教育研究会)			
<b>環境・衛生管理</b>		<b>環境・衛生管理</b> ・施設内外の設備・用具の清掃、消毒、安全管理及び自主点検(自主点検表、安全点検チェック表) 子ども及び職員の清潔保持 ・年1〜2回の外部業者による点検及び園庭整備・全職員の実施		<b>特色ある保育</b>		<b>特色ある保育</b> ・出雲崎の伝統や文化に触れる保育・探究活動(プロジェクト活動)・公開保育(保育フォーラム)の実施 ・年1回、乳幼児教育関係者の施設見学の受け入れ。ニュージーランドのラーニング・プログラムを生かした保育記録。子どもの興味関心を起点とした主体的な遊びの中で、豊かな育ちを保障することができるよう保育者の環境や園庭環境、保育内容の充実を図る。 ・保育実践、乳幼児期の研究と日本保育学会、日本乳幼児教育学会での発表 ・乳幼児関連書籍の執筆			
<b>安全対策事故防止</b>		<b>安全対策事故防止</b> ・避難訓練(火災、津波、地震、不審者・原子力災害対応)の実施毎月 ・交通安全指導 毎月 ・保護者引き渡し訓練 年1回 ・町の防災訓練参加 年1回 ・AED講習会 ・保育環境、備品の安全管理 毎日		<b>出雲崎町への行事参加</b>		<b>出雲崎町への行事参加</b> ・生涯学習フェスティバルへの参加 ・町の防災訓練に参加			
<b>子育て支援・地域への支援</b>		<b>子育て支援・地域への支援</b> 【子育て支援】・・・在園児家族対象「ファミリデー」、未就園児親子対象「子育てサロン」、妊婦の方対象「マタニティサロン」 【地域への支援】子育て育児講演会開催、実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ、地域子育て通信「ひだまり」を地域の福祉、教育施設に配布		<b>自己評価</b>		<b>自己評価</b> 園の評価・保育教諭の自己評価(自己評価と子どもの評価の確立)・自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成 ・第三者評価の理解			